

参院選 兵庫選挙区

兵庫・大阪で棲み分け「一本化」

「9条改憲」阻止へ野党議席を奪還

参院「3分の2議席」攻防のカギ握る兵庫と大阪

7月の参院選は、自・公に維新を加えた“改憲勢力”が衆院で3分の2(310議席)を大きく上回る中で、参院でも「3分の2議席」を取らせないことが最重要課題になります。参院では現在「改憲勢力」がわずかに3分の2を下回っており、自・公はいつでも改憲発議できる3分の2議席確保をこの参院選でめざしています。

野党は一つでも多く、確実に議席を確保することが至上命題です。野党共闘による一人区の候補者一本化にほころびが出ている中では、複数区でも候補者を調整すれば議席獲得が可能な選挙区では候補者の調整が不可欠です。

兵庫県と大阪府の選挙区では、過去2回の参院選で合わせて14の議席がすべて自・公と維新の改憲勢力に奪われ、野党の議席はゼロです。過去2回の選挙でも野党が候補者を一本化して

いれば議席を確保できていた可能性が高かったが、いずれも“共倒れ”に終わりました。もはや、3回連続の“野党共倒れ”をするわけにはいきません。

連帯兵庫みなせんは、同じく厳しい選挙情勢を抱えている大阪府の市民連合団体などと一緒に、兵庫と大阪で連携して棲(す)み分け「野党候補者の一本化」によって議席を奪還することを野党各党に要請しています。4月10日には神戸で参院選討論集会を開いて「選挙区候補者を一本化し、野党議席を奪還するアピール」を決議しました。

兵庫と大阪で1議席ずつ確保し、改憲勢力の議席差を4議席縮めましょう！！

(裏面にアピールの全文)



参院選兵庫選挙区(定数3)の推移

	2022年参院選予想	2021年衆院比例	2019年参院得票		2019年参院比例	2016年参院得票	
候補者(政党)	末松信介(自民・現)	666,068	清水貴之(維新)	573,427	472,068	末松信介(自民)	641,910
	伊藤孝江(公明・現)	297,967	高橋光男(公明)	503,790	324,578	伊藤孝江(公明)	542,090
	片山大介(維新・現)	779,820	加田裕之(自民)	466,161	639,104	片山大介(維新)	531,165
	相崎佐和子(立憲・新)	324,786	安田真理(立憲)	434,846	292,456	水岡俊一(民進)	420,068
	小村潤(共産・新)	151,090	金田峰生(共産)	166,183	179,860	金田峰生(共産)	228,811
	国民民主党?	73,458					
	れいわ新選組?	79,532					

候補者を擁立している政党へ「議席奪還最優先」「野党候補一本化に英断」求める要請をしよう

立憲民主党 千代田区平河町2-12-4 fax03-6811-2302 goiken@cdp-japan.net <https://twitter.com/CDP2017>
 日本共産党 渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 fax 03-5474-8358 info@jcp.or.jp https://twitter.com/jcp_cc

兵庫と大阪で連携し、選挙区の「候補者一本化」を実現しよう

参院選で野党議席奪還をめざす「市民と野党の共闘」アピール

連帯兵庫みなせん 衆院選総括と7月参院選へ向けての討論集会
(平和と立憲主義、いのちと暮らしを守る市民選挙・連帯兵庫)

2022年7月の参議院選挙まで、すでに3カ月を切りました。市民と野党の共闘は昨年10月の衆院選以降の混迷状態から未だ抜け出せず、立憲野党の候補者調整は過去2回の参院選に比べて遅々として進んでいません。他方、自・公の政権与党は一時暗礁に乗り上げていた相互推薦などの連携態勢を修復し、衆院選で躍進した維新は野党第一党をめざして立憲野党の共闘に楔を打ち込む意気込みを見せています。

今夏の参院選の焦点は、9条改悪をはじめとした平和憲法を“骨抜き”にする「改憲」を発議させないためにも、参院で改憲派に「3分の2」議席を占めさせないことにあります。ウクライナ戦争が深刻さを増す中では、平和憲法を堅持し、戦争を止めさせる役割をこの国が果たすためにも、平和憲法を維持し「戦争を放棄」したこの国の責任を果たさねばなりません。改憲派との際どい議席差の中で、可能性のある選挙区では1議席でも多く、野党が連携し着実に議席を確保することを何よりも優先させねばなりません。次期参院選後は3年間は国政選挙がない“黄金の3年間”とも言われており、この選挙での結果はこの国の進路に決定的な影響をもたらします。

過去2回の参院選では、「一人区」での確実な「野党候補の一本化」が成果を挙げてきましたが、今回はそれさえも厳しい情勢にあります。一人区での候補者調整を強力に進めるとともに、複数区でも野党が連携すれば議席の確保が可能な選挙区では、大胆に候補者を調整し議席の獲得を最優先すべきです。

兵庫県（改選数3）は、過去2回とも野党は複数候補を立てて“共倒れ”し、自・公と維新に選挙区議席を独占されています。維新が強い隣の大阪府も同様に、過去2回とも野党は共倒れし、維新2、自・公各1と改憲勢力に独占され、両府県で14ある選挙区議席で野党はゼロになっています。

もはや、次期参院選で三度「共倒れ」することは許されません。前回も前々回も両府県では得票結果から見れば、野党が候補を一本化していれば、優に当選できていました。候補者を擁立する野党は「比例票獲得のためには選挙区候補者を欠かせない」という理由を挙げてきましたが、私たちは「着実な議席の確保」が何より最優先されるべきだと考えます。「複数区は切磋琢磨し…」と“党勢拡大”を優先する政党の立場は分からないことはありませんが、そのために優に議席を確保できる選挙区で、みすみすそのチャンスを失うことは、少なくとも今回は避けるべきです。

市民と野党の共闘にこの6年間、野党共闘の“接着剤”として取り組んできた連帯兵庫みなせんは次期参院選を前に、同じ思いを抱く大阪の「市民の力で政治を変える！大阪アピール」の皆さんとともに4月初め、大阪と兵庫の両選挙区で野党が棲み分けて連携し、両選挙区の候補者をそれぞれ「一本化」することを求める要請書を、野党5党の中央本部にそれぞれ提出しました。この討論集会にも野党各党とともに大阪の市民団体の皆さんも参加し連帯して取り組むことを誓いました。

両府県の連携で両選挙区の野党議席を確保すれば、野党議席が2つ増えるだけでなく、改憲勢力の議席を2議席減らし、与野党の議席差を4つ縮めることとなります。参院における「3分の2」をめぐる際どい議席差を考えれば、こうした結果は限りなく大きなものになります。

私たちは「着実な議席の確保」を求めます。立憲野党各党の賢明な英断を求めます。

2022年4月10日

連帯兵庫みなせん 連絡先 minasenhhyogo2016@gmail.com TEL078-691-4593 (出口) Fax078-691-5985
ホームページ「みなせん兵庫」<https://minasen-hyogo.com/> 事務局：673-0845 明石市太寺4-9-17

賛同署名を野党本部へ届けよう！

兵庫&大阪の連携で「候補者一本化」をぜひ、実現してください。

お名前 _____

ご住所 _____

- 賛同署名は**5月末までに**、上記の住所 or F A X、E-mailへ。
- 署名や署名数を野党本部に知らせることもあります。名前の公表の可否もお選びください。
- ①名前の**公表可** ②名前の**公表不可**